

史料集(すべて倉敷市総務課歴史資料整備室所蔵)

史料1 井組拾壹箇村申合一札之事(西阿知町役場文書78)

井組拾壹箇村申合一札之事

一 御料領御立会川内拾壹ヶ村悪水抜宮之浦村水門之儀者、元禄年中御立会御普請ニ而出來仕、右水門給米八石を以御料領割賦被仰付、是迄何事ニよらず古格之通割賦仕候、然ル処年々大川砂流以前々川床高相成、悪水落兼拾一ヶ村水腐仕御取箇も追々相減、百姓者相続難仕ニ付、御料領江御願申上、右水門尻大川ニ切、西之浦地内へ新井路仕、同村串山東海手へ悪水引落申度、数年相目論見組合相談相決、西之浦へ相願及熟談普請取懸り可申処、川西村々方故障申立及出入、江戸表迄再三御訴訟申上、其上御検使様御越被遊、御見分御吟味之上、取扱ニ而内濟仕、式拾貳年已前子年方御普請取懸り両三年之間ニ皆出來仕候、水損亡困窮之上三年之間及出入、諸入用多分ニ相懸り、其上川手ニ切見積り通り方取扱ニ而山手へ引取候故、山を水道ニ仕立候場所所有之、大造之普請入用ニ付重々及難儀候得共、悪水目論見通引落、田畑共無当荒生立、乍恐御益ニも相成百姓相続仕候段、難有仕合奉存候、

一 西之浦地内へ相頼新井路及熟談、右新井路筋宮之浦下手方串山脇迄井路長八百九拾七間、右井路敷代米三拾五石余組合方西之浦へ毎年相渡申候得共、宮之浦前水門水落巾壹丈、右水門尻片島村悪水樋落合、其下手字弁才天山端ニ而水門壹ヶ所水道巾壹丈八尺、串ノ山東手ニ而汐留水門壹ヶ所水道巾右同斷、其間ニ大砂川ふせ越水道巾壹丈貳尺、尤無中柱、其外新井路巾六間ニ相定候事、万一

洪水之節、川内拾壹ヶ村之内左右之堤押切候節、大川方押込候悪水郷中へ引請、右水道筋へ引落候而者、所々水門保子不申、勿論新井路通人家も有之儀ニ御座候間、切込候悪水ハ通しかたく、尤上郷押切候ハ、水勢強手末之堤張切可申候得共、右張切候迄見合候而ハ拾壹ヶ村家居流失仕、人命ニも拘り候間カ、右躰之節ハ熟談之上、片島村下手堤切払、当難相凌可申、組合勝手ニ付切払候事ニ御座候得者、悪水引落次第早々組合方普請可仕一流申合之事ニ御座候、

一 此度六月十八日大洪水ニ而西原村堤數百間押切、郷中水湛家居等流失仕、人命も拘り候程之儀ニ付、兼而申合之通、片島村堤末切払不申候而ハ相成間敷と存居申内、右郷中悪水を以同村堤末内方張切、水かき減、人馬之助命仕、右ニ付切所之儀者片島村へ及相談組合村々方助合御普請相仕立候義者一流得心之儀ニ候得共、向後洪水之様子ニ寄り片島村堤者不及申、いつれ之村方ニ而も所々破損候義も難計、其節ニ至り助合御普請相仕立候義、古格杯と申立間敷候、前書ニ有之通、郷中悪水湛人命ニも拘り候程之儀ニ付いつれ之村方堤ニ而も切払候節者、組合方助合御普請相仕立可申定候、此度片島村切所之分ハ御普請御願立度、御聞濟も御座候ハ、組合方早々助合御普請丈夫ニ相仕立可申候事、

右之通、組合村々水難時節、彼是及掛合候義至而歎ヶ敷存候ニ付、此度改申談、向後上郷大川堤押切郷中江水湛人命ニも拘り候程之儀ニ候ハ、片島村堤末ニ而切落当難相凌可申定、尤其節水防ニ罷出候村役人共上郷切所之様子ニ寄り川内いつれ之村方堤切払候共彼是差

障ヶ間敷儀申間敷候、然ル上者悪水干落次第早々組合方助合御普請
相仕立可申候、勿論堤内外方自然と押切候場所ハ其村限之事ニ候、
畢竟先年申合而已ニ而是迄書付等も無之、区々ニ相成ニ付、此度申
堅メ証文相認、御料領老枚宛為後年為取替置処、如件

浅口郡片島村

庄屋

重内

同

栄助

窪屋郡中島村

庄屋

与八郎

同

代五郎

同

多助

同郡酒津村

庄屋

伝右衛門

浅口郡西阿知村

名主

忠吉

同郡西原村

名主

羽右衛門

同

喜藤太

窪屋郡水江村

名主

清左衛門

浅口郡西阿知新田村

名主

儀右衛門

同郡同村

新見領庄屋

丸川蜜右衛門

同郡大江連島村

庄屋

六郎右衛門

同郡西之浦

庄屋

三宅弥平治

同郡矢柄村

庄屋

弥三右衛門

史料2 備中国浅口郡片島村地内松山川通川除堤切所御普請出来形帳
 帳（中原家文書11・1）

備中国浅口郡片島村地内松山川通川除堤切所御普請出来形帳

（中略）

右者備中国浅口郡片島村地内松山川通堤切所御普請之義、兩六月中大水之節、内川通上郷私領同郡西原村地内二而、切所出来合場所方大水押入、下郷片島村初隣郷数ヶ村家居并耕地水下二相成、尤悪水吐水門壱ヶ所御座候得共、流末海表方折悪敷逆汐指込、却而内水相増候二付、無拋閼戸ノ切候得共、内水湛強多人數溺死ニ茂可及程之所、片島村地内字柳井下堤内水ニ而押崩、同川下手江吐出候二付、早速上水引落、村々怪人も無之、扱又片島村外御料私領拾ヶ村ハ、三方ニ両松山川を引請、下手ハ山付ニ御座候処、右両川通近来別而砂埋

■村々耕地方も川床高相成候二付、上郷何方ニ而切込候而も水吐悪敷場所故、時宜ニ寄候得ハ人命ニも抱候儀ニ付、内水ニ而表堤押切候節ハ、組合拾壱ヶ村井路水門番給米八石之割合ヲ以、人足諸式指出相仕立候内談ニ取極置候処、当年之大水片島村地内ニ而表堤張切、本川筋へ上水吐落大勢之者共助命仕候二付、右内談之趣ヲ以私領村々ハ割合入用米銀手当之義其村限地頭へ相願諸式差出候二付、御料所地先片島村外式ヶ村相当候共、御入用御普請成被為下候様、奉願上候、併シ是迄内水ニ而堤押切候義も無之、勿論内水川筋へ吐出候得者外村々ハ助ニ相成候得共、其切口ニ当り候村方ハ数ヶ村之落水引請数日悪水湛、田畑之土押流跡迄も不作ハ勿論、家居破損等品々難渋相嵩候二付、少茂干涸之趣候て、耕地境土手道杯少々も地高之

所へ土俵仮堰等仕、悪水不引請様ニ其村限之水防仕候、然ル時ハ上郷内水吐方無之、自然出入立之義も出来可仕候哉、左候へハ隣村不平之基ニ御座候間、前書之通申合いたし置候義ニ而、勿論川表方切込候節ハ前々之通、其村限ニ御普請相願候積り、既ニ此度組合内西原村地内ニ而三百間余堤押切候得者、川表方切込候儀ニ付助合不仕候、右之通為申替ニ付其時之切高ニ寄助合有無御座候間、強テ後例ニも相成不申候段申合御普請奉願上候処、御目論見御普請書面之通、被 仰付、早々御普請丈夫ニ皆出来仕、一同難有仕合奉存、依之出来形帳差上候、以上

備中国浅口郡

片島村庄屋

重内

百姓代

佐平次

同国窪屋郡

中島村庄屋

与八郎

「数行汚損して読めず

以下同

□姓代

幸五郎

同国同郡

酒津村庄屋

西阿知村

同郡

大江連島村

山崎主税助知行所

同郡

西之浦

同郡

矢柄村

右村々惣代

西之浦庄屋

弥平次

大江連島村庄屋

六郎右衛門

西阿知新田村名主

金五兵衛(付箋省略)

水江村名主

佐忠太

中嶋村庄屋

多源太

柘植又左衛門様

御役所

(後略)

史料4 乍恐奉願上口上(西阿知町役場文書15)

乍恐奉願上口上

浅口郡片嶋村大川面堤、当八月三日洪水之節押切、川内壱面当作者不及申上ルニ村々百姓共家居迄水湛迷惑仕候、右切レ所御普請ニも未取掛リ不申候ニ付、同村江再三対談仕候得共、如何様之心底御座候哉、兎屋角申、急ニ取付候様ニも相聞江不申候、右場所此上延引ニ成居申内出水之程も難計奉存候、又々水指込候而者、麦作等必定用立不申候、左様ニ相成候而ハ重々迷惑仕候、近頃軽多奉存候得共、少し茂早ク御普請被為 仰付被下候様奉願上候、年内急御普請被為仰付不被下候ハ而者、土芝等ベリ無御座、元来砂堤ニ御座候得者別而無心許奉存候、既ニ丑ノ歳方当年迄終九ケ年之間、同場所方三度迄切レ込、村々至極難渋仕候、乍恐急御普請被為 仰付被下候様、偏ニ奉願上候、以上

岡山領西阿知村名主

和平次(印)

同 水江村名主

幸左衛門(印)

同 西原村名主西阿知村

(明和二年)
酉ノ十月廿四日

治右衛門(印)

同御分地領西阿知新田村名主

四十瀬新田村

十郎右衛門(印)

同 福井村

甚四郎(印)

新見領大江連島村庄屋

六郎右衛門(印)

同 西阿知村庄屋代年寄

庄右衛門(印)

成羽領西之浦庄屋

三宅弥平次(印)

同 矢柄村庄屋

文次郎(印)

御料中嶋村庄屋

与八郎(印)

同

助太郎(印)

同

清左衛門(印)

同 酒津村庄屋

伝右衛門(印)

内方鉄五郎様

御役所

※年欠だが、宛名の内方鉄五郎の倉敷代官在任期間および差出月日に付された干支から、明和二年の史料とわかる。

史料5 備中国浅口郡片島村地内川除当辰御普請出来形帳控(中原家文書11・4)

(表紙)

備中国浅口郡片島村地内川除当辰御普請出来形帳

扣

不用相成

反古

高八百式拾五石四斗七升七合五夕

備中国浅口郡

片嶋村

(中略)

松山川通

字前新田株木端

高三尺

一堤滅所長百六間

但馬踏式間 老ヶ所

敷三間

此土坪百三拾式坪五合

但土取老町半

此人足五百三拾人

老坪四合掛

是者前々御普請所ニ而明和五子・同六丑年野村彦右衛門様、安永六酉年花木伝七郎様、文化五辰年大岡久之丞様、同八未年大原四郎右衛門様御支配之節、御普請被 仰付、其後小破之分ハ村繕罷在候所、去々寅年之大地震ニ而堤■之割、滅所出来、難捨置御普請之義奉願候所、御見分之上当春御普請被 仰付候、

(中略)

御役所

右寄

人足七百弍拾五人六分

内

高百石五拾人

四百拾弍人七分

村役人足

三百拾弍人九分

御扶持米人足

此米弍石三斗四升六合七夕

但老入二付

米七合五夕

芝弍万四千百四拾七枚

村役

(中略)

右者去酉年御普請奉願上候二付、御見分御目論見之上、当辰年御普請被仰付、則丈夫二皆出来仕候、依之出来形帳面奉差上候、以上

浅口郡片島村

安政三年

百姓代

辰九月

福之進

同

道平

庄屋

俊助

同

健蔵

佐々井半十郎様

倉敷

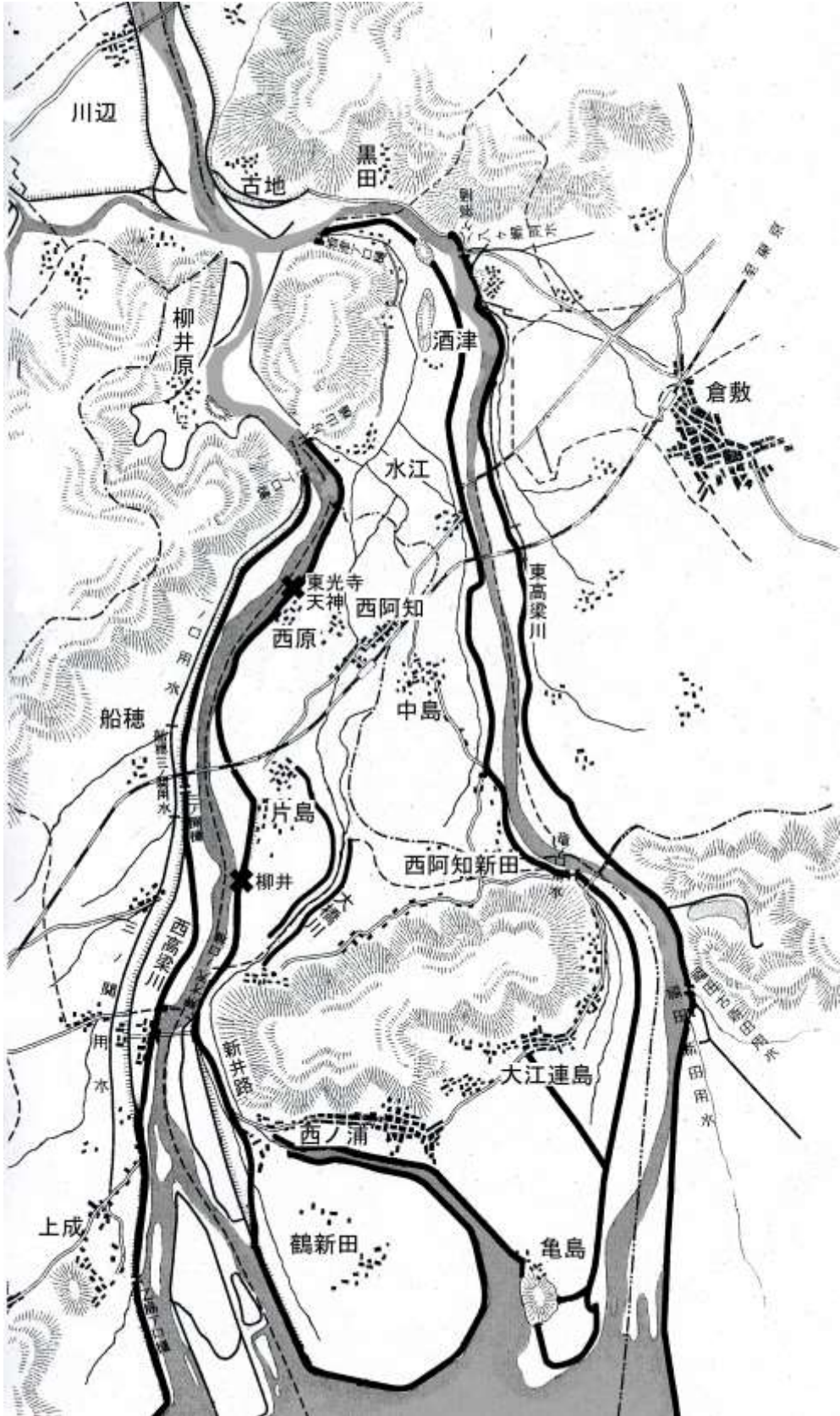


図1 川内（河内）地域と東西高梁川

(『高梁川東西用水組合沿革誌』所収の高梁川用水変更計画平面図を基に改変)